

## 修 士 論 文 の 和 文 要 旨

大学院電気通信学研究科      博士前期課程      人間コミュニケーション学専攻		
氏 名	田 辺   誠	学籍番号   0536014
論 文 題 目	インターネットにおけるスキンシップデバイスの 応用に関する研究	
<p><b>要   旨</b></p> <p>近年、インターネットを介して抱擁感を呈示し、スキンシップ不足を解消しようとする研究が進められている。この場合の抱擁感とは、抱きしめたり、抱きしめられたりする感覚のことである。</p> <p>しかしながら、抱擁という大仰なコミュニケーションではなく、気軽なスキンシップによるコミュニケーションをインターネットにおいて行う手法についての研究は少ない。</p> <p>本研究では、インターネットを介しての気軽なスキンシップの手法として「くすぐり感」を呈示するデバイスとシステムを開発する。くすぐりは「くすぐり遊び」という言葉からも知れるように、抱擁に比べると「遊び」という印象が強い。ならばこれを、インターネットを介して呈示することで、遊びとして面白く、かつその面白さがスキンシップを促進させるようなコンテンツを作ることはできないだろうか。</p> <p>そこで本研究では、振動デバイスをユーザーが体に装着して「くすぐり感」を呈示するメールシステム「Koochie Mailer」を開発する。「Koochie Mailer」では、電子メールを介してくすぐりを呈示する。メールの送り手が「ちょちょ」という音声を録音すると、そのデータはメールに添付され送信される。受信者がそのメールを開くと、振動デバイスに組み込まれた複数の振動モータが、録音された音声の高低に基づき振動する。ベストに似たウェアの、ユーザーの脇の下にあたる部分に、振動モータの配列が縫い付けてあり、くすぐり感を呈示できるようになっている。</p> <p>メールシステムは、くすぐったさを呈示する振動デバイス、録音用のモジュール、メールプログラム（録音した音声をメールに添付して送受信する機能とくすぐりデバイスを制御する機能とを併せ持っている）の3つの部分から構成される。</p> <p>「Koochie Mailer」を開発した後、10名の被験者に対してシステムを評価する実験を行い、くすぐったさの呈示、スキンシップの実感、また遊びとしての面白さがどの程度達成できているかについてインタビュー形式によるアンケート調査を行った。その結果、くすぐり感呈示の達成度に問題はあるものの、音声と触覚刺激を同時に再生することによって、電子メールによるコミュニケーションにおいても、お互いの存在を感じとるような親密な印象を与えられる可能性があることがわかった。</p>		